

1. 教育・保育理念

愛がいっぱい 笑顔あふれるこども園

2. 教育・保育基本方針

- ・常に利用者の立場に立ってニーズに応え、サービスの向上に努めます
- ・一人一人の人格を尊重し、互いの信頼関係をよりよく構築します
- ・地域・自然・人とのかかわりの中で豊かな人間性の育成をめざします

◎項目及び項目4の評価結果の表示方法

A	十分達成されている	B	達成されている
C	取り組まれているが、成果は十分でない	D	取組が不十分である

3. 重点目標

- ・自分で考えて行動できる園児の育成

4. 研究テーマ

- ・自分を表現し、生き生きと遊ぶ園児

～やってみたい ワクワクするような環境づくり～



3 ①感じたことや考えたことを話したり、行動する。

②生活や遊びの場面で自分なりに考えて自分の力でやってみようとする。

4 ①自然や保育教諭、友だち、地域の方々など身近な環境・関わりの中で自分の気持ちや体験を自分なりに表現する。

②環境に好奇心や探究心を持って主体的に関わり、自分の遊びや生活に取り入れる。

5. 評価項目の達成及び取組状況

6. 総合的な評価結果の概要

評価項目	結果	理由
園児の行動・思いをありのまま認め、十分に受け止め触れ合いや語りかけをして、園児が自己主張をできるように主体性を尊重しつつ、自分の考えを言葉や行動表情などで表現できる基礎づくりをしていく。	B	新体制になり、職員同士が丁寧話し合いを重ねることで、子どもたちがよりよく過ごせるよう努力してきた。職員が多様な関わりを持つことで、子どもたちに良い影響を与えられればと感じている。一方で、自己主張が得意でない園児には過ごしにくい面もあり、配慮が必要と考える。園児の発達や個性に寄り添いながら、環境を工夫し、自信につながる関わりを大切にしている。
園児一人一人の発達を見通し、一人一人が自己発揮しながら意欲的に遊ぶことができる体験を展開していく。	B	園児一人ひとりの発達や個性に配慮しながら、主体的に遊べる環境を整え、活動や製作を工夫して進めてきた。しかし、新園舎の工事による遊びのスペースの制約や、限られた時間・職員数の中で、十分な成果を上げることが難しい場面もあった。発達段階に応じた遊びの設定や個別対応を行いながら、園児が意欲的に遊び、自己発揮できるよう環境構成を大切にしている。
園児の興味や関心、育ちにに応じて意欲的に遊びを進める事ができるような環境の構成	C	園児の興味や発達に合わせた遊びを大切に、主体的に遊べる環境を整えてきた。しかし、新園舎の工事によるスペースの制約や、職員の負担軽減に伴う準備不足などで、十分な環境を提供できない場面もあった。遊びを通じて園児同士の関わりを深め、自信を持てるよう工夫しながら、今後もより充実した保育を目指して取り組んでいきたいと考えている。

結果	理由
B	園児の行動や思いを尊重し、自己主張を促すための環境づくりに努めている。園児一人一人の発達や個性に寄り添い、主体的に遊ぶことができるような体験を提供することを重視しているが、自己主張が得意でない園児に対しては特別な配慮が必要であると認識している。自分の考えを言葉や行動、表情などで表現できるように一人一人に寄り添い、丁寧に関わっていくようにしていきたい。また、職員同士の話し合いを通じて、園児がよりよく過ごせるよう努力しており、自然や保育教諭、友だち、地域の方々など、身近な環境、関わりを持つことで園児に良い影響を与えたいと考えている。しかし、環境整備や遊びの設定においては、職員の負担軽減に伴う準備不足等で、十分な成果を上げることが難しい場面も見受けられる。今後は、園児の興味や関心に応じた遊びを大切に、より充実した教育・保育をめざして、環境構成や活動の工夫を続けていくようにしたい。

7.学校関係者評価

担任でない先生方も名前を覚えて呼んでくれたり、挨拶をしてくれる、休んだ日の翌日は、心配して声をかけてくれるなど、園全体で園児を大切にしてくれているのを感じています。保護者にも丁寧に接していただき、信頼して子どもを預けることができます。今年度は、新園舎の工事により、外遊びの機会が減ってしまったようですが、今後も自然とふれあう時間を積極的に取り入れていただきたいと思います。先生方がどのような目標を基に保育をしているのか、保護者にはわかりづらいため、保護者に共有される機会があれば、家庭での育児にもよい刺激となりそうです。

学校関係者評価者

保護者代表